

サイバーシルクロード八王子からのお知らせ

はちおうじ未来塾 修了式のご案内 ～甲谷塾頭・前川副塾頭 最後の未来塾～

昨年5月よりスタートした第8期「はちおうじ未来塾」は多くの関係者のご支援とご協力により3月21日に修了式を迎えることができました。今期は9名が参加し、課題図書感想文やフィードバック提出など苦労を重ねながら、1年間塾生は絆を深めてきました。現在は卒業に向けて課題の整理やリハーサルを重ねております。

ご承知の方もおられると思いますが、8年間、未来塾を支えていただいた甲谷塾頭、前川副塾頭は今期をもってご勇退されることになりました。お世話になられた方も大勢いらっしゃると思います。今回の修了式は甲谷さん、前川さんの最後の未来塾となります。

修了式は是非ともHFAの皆様にご参加いただき、塾頭・副塾頭並びに塾生に労いをいただきたく存じます。



【日時】 3月21日(土)修了式 13:00～17:15 / 懇親会 17:30～19:00
 【場所】 京王プラザホテル八王子 4階(懇親会 2階ルクレール)
 【会費】 5千円(懇親会参加者のみ)

サイバーシルクロード八王子はリニューアルします

13年半にわたりサイバーシルクロード八王子をリードしていただいた甲谷会長が3月でご勇退されます。そこで、サイバーでは市役所・商工会議所と検討を行い、事業内容の整理と組織を一新することになりました。未来塾は引き続き、サイバー事業として継続していきます。今後はHFAの皆様と事務局が連携を図り、共同運営していくことになりました。どうぞよろしく申し上げます。

サイバー事務局より

サイバーシルクロード八王子の職員 岩月達男は3月末をもって商工会議所(サイバー)を退職することになりました。未来塾卒業生の皆様には大変お世話になりました。心より厚く御礼申し上げます。この紙面をお借りしてご報告申し上げます。

編集後記

時が経つのは早いもので、HFA発足から5年が経ちます。最初は手探りで、メンバーで議論を重ね様々な活動を行ってきたHFAですが、今やシンポジウムなど全国の開塾が集まる場に出向くと、HFAの知名度と周りからの期待感のようなものは私たちが思っている以上にあるように、レポートを拝読して感じました。今回の表紙のインタビューでは株式会社ケイアイさんに取材にお伺いしましたが、丁寧にお話を聞かせていただき、経営者としての北島さんの仕事に対する熱意を肌で感じてきました。私なりにこの広報委員会の活動を通して“学び”を頂けるHFAはそれだけでも大きな価値のある存在となっています。【広報委員会 会報誌編集担当 町野】

*次号は平成27年6月発行予定です。



HFA会報誌「みらいへ」vol.2
 平成27年3月発行
 編集・発行 HFA広報委員会



PICK UP インタビュー

株式会社ケイアイ
 代表取締役 北島 伸高



▲新製品CAPSSIについて熱心に解説する北島社長。



▲行動指針と企業理念を掲げ、明るく楽しい企業に。



▲2つと同じものはないというオーダーメイド車椅子。

日本初の車椅子メーカーから、かわりあう全ての人たちの明るく楽しくする会社へ。

昭和11年、戦傷軍人用に日本で初めて車椅子を製造した北島商会から始まり、来年初創業八十周年を迎える株式会社ケイアイ。長く車椅子メーカーとして歴史を歩んでいるが、2000年の介護保険法施行によって従来のオーダーメイド車椅子だけでは事業縮小を避けられない事態に直面した時期がある。当時代表に就任したばかりの北島伸高氏は会社の体制を一新、2004年からは介護・福祉用具のレンタル事業も開始し、車椅子製造事業と二本柱で利用者のニーズに応えている。

代表就任後の数年間は黒字化達成と維持に必死だったと振り返る北島氏。しかしその一方で、家業を継いだものの車椅子その物には興味を持てず、仕事に対するモチベーションをどう高めればいいのか悩んだ時期だったと語る。考えた末に導き出したのが、行動指針と企業理念である。例えばコピー用紙が残り少なくなったら次の人の為に補充するなど、些細なことでも人としてどうなのかという視点を持って行動し、かわりあう人々が明るく楽しくなれる企業にすることを目標に掲げたのだ。今ではこの行動指針が社員にも根付き実践されていると自信を見せる北島氏。自身も社員の働きやすい環境づくりを行い、社員の定着率の高さに繋がっている。

利用者の目線で考え行動するという姿勢は製品やサービスにも反映され、昨年は新製品CAPSSI(キャブス)の発売を開始。従来の車椅子の座位保持部はウレタンを削って作られていたが、CAPSSIは背面部から延びるアームとその先端に取付けられたベルトで利用者の体を支える構造を持つ。前後・左右・上下と自在に動くアームとベルトの微調整で背面成形出来る為、ウレタン製では不可能だった試乗ができ、導入後も利用者の姿勢の変化や身体の成長に合わせて調整が可能で長く使用できる。従来に比べ製造工数が少ないので短納期な上、ウレタンのごみが出ないので環境にも優しい革新的な製品だ。開発の根底には車椅子を必要とする人々の生活の質を高めたいという思いがある。CAPSSIの普及、そして高い技術と安心のサービスで前進し続ける同社の今後に期待が高まる。

「全国若手ものづくりシンポジウム 佐伯大会」への参加を振り返る。



2014年11月21日、22日に開催された「全国若手ものづくりシンポジウム 佐伯大会」。年に一度、関東ネットワークを介して、全国の塾生・OB・中小企業経営者・行政職員などが集まる祭典だ。初日のプログラムは「Google Japan代表取締役の村上憲郎氏による記念講演」、「関先生による基調講演」、「地域活性化ビジネスプラン発表会」、「大交流会」。2日目は「パネルディスカッション」と「エクスカッション」といった内容で執り行われた。

前回(2013年)、シンポジウム開催地となったHFAは、初日の「地域活性化ビジネスプラン発表会」にて事例を発表する大変貴重な機会をいただいたが、色々な気づきを得る機会にもなった。

発表内容は「前回の開催地として、また前回地域活性化ビジネスプランのテーマを主催した立場として、今HFAが手掛けている地域活性化ビジネスプランの発表をして欲しい」というものであった。このオファーがあったとき、我々は正直途方に暮れたと言ってよい。なぜなら、あれだけのシンポジウムを実施したからには「HFAとして何かすごいことをやっているのではないか?」という他団体の期待がある一方、HFAとしては少なくとも「シンポジウムをきっかけとした」新たな展開に着手できていないからである。発表自体は、HFAが将来目指す姿を掲げた上での現状の姿を表し、いわばHFAとして「発展途上」を強調した「地域活性化」の発表であった。中には「非常に感動した」という感想も頂き、非常に手ごたえを感じたものの、シンポジウム開催を契機としたHFAとしての活動がどう継続されているかも浮き彫りになった。



信用金庫“イチオシコマ”全国大会に出場し、3位入賞

2014年11月12日、13日に実施された「信金発!地域発見フェア」内の「信用金庫“イチオシコマ”全国大会in東京ドーム」に参加しました。全国の中小製造業と技術関連の高校生34チームが参加し、その技術を競い合いました。結果は、堂々の3位入賞でした。(HFAとして、全国大会で入賞したのは初のこと!!)大会に持込んだコマは、HFA会員5社が共同で製作し、コマ単独での回転時間は9分を越え、コマ大戦企画のコマとしては、最高峰のコマに仕上がった力作です。

コマ大戦参加企業の中には、コマ大戦を新入社員教育(設計、加工、社会勉強)として利用しているところもあり、企業宣伝の場だけではなく、教育の場として活用している企業に感心しました。



「明日のすみだを拓く大交流会」全国から約250名が参加

2月21日墨田区役所のリバーサイドホール・イベントホールにて行われた「明日のすみだを拓く大交流会」にHFAメンバー約十数名が参加しました。主催している「すみだ次世代経営研究協議会」は、はちおうじ未来塾の姉妹塾でもある「フロンティアすみだ塾」の実施母体。当日は、会場を埋め尽くす、北は北海道から南は鹿児島までの約250名の参加者が来場しました。

当交流会では、基調講演やパネルディスカッション、参加者らによるグループディスカッション等が行われた。まず、はちおうじ未来塾の顧問でもある関先生の基調講演では、ブランディングについてのお話。戦後の加工技術に着目した日本のものづくりから、中国の参入による時代の変化を解説し、これからの厳しい競争社会で、中小企業がどう生き残っていくか、という内容がとて印象的でした。



その流れから、パネルディスカッションでは自社ブランドの確立について。インターネットやクレジット決済などのインフラが整ってきた昨今の市場で、ターゲットをどこに設定するかを決めてからブランディングに取り掛かる。その事が最も重要に感じました。一日を通して様々な地域、業界の方とブランド力を高める為に必要な事について意見交換・グループディスカッションができ、とても勉強になりました。



今後のHFAの活動への課題も見える

現在のHFAは、各委員会による自主事業が活発に行われており、会としては活性化されているが、一方で、例えばメンバー各々の「成長」や各社の「進化」に直接つながるような事業は積極的に実施されていない。

2013年八王子にて開催したシンポジウムは必ずしもHFAメンバー全員と共有できたわけではなく、さらにシンポジウム終了後の「振り返り」も不足していたことから、シンポジウムで取り上げたテーマがしっかりと引き継がれることがなく、今の新体制が稼働してしまっただけのも一理言えるが、この佐伯シンポジウムへの参加を機に、今一度HFAとしてのビジョンを改めて検証するべきであると感じる。

『防犯カメラ』を始めとする業務用セキュリティシステムの販売・施工・保守

当社は『安全な社会環境を実現するために求められるセキュリティシステム提供』を事業使命に掲げ、小売店や工場、集合住宅や公共施設等、様々な場面で必要とされている『防犯カメラ』を始めとする業務用セキュリティシステムの販売・施工・保守を行っております。お客様のご要望を叶えるため、国内外の多種多様な機器を取り扱っており、お客様のご要望以上の高品質で低コストなシステムの提供を実現しております。

【株式会社ガリレオ】

東京都八王子市横山町5-15 三井生命ビル8階 TEL:042-639-0510



家庭の庭や工場・事務所に置く屋外用の流し台など、住宅設備機器を販売。

東洋アルチタイト販売株式会社は、住宅設備機器 卸・販売をしているメーカーです。マンションやアパート、戸建住宅などで使われている空調用ダクトを始め、テナント・工場等の空調設備部材も扱っております。空調以外にも、家庭用から業務用の油タンクや無煙焼却炉などの住宅関連部材を幅広く扱っております。身近なものでと、ご家庭の庭や工場・事務所に置く屋外用の流し台などお勧めです。是非ともお問い合わせください。

【東洋アルチタイト販売株式会社】

東京都八王子市大和田町3-13 TEL:042-645-1361

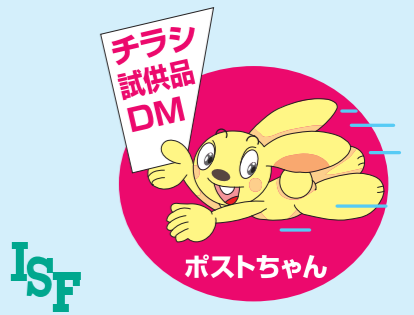


ターゲットをピンポイントに絞ったポスティングで効率的な広告を。

弊社は八王子市を中心としたエリアでポスティング・ダイレクトメールなどの発送業務しております。今まさに、情報を知ってほしい若い世代が活字離れによって、新聞の購読が激減しています。それに加え、新聞折込では大量のチラシが一度に入ると、コストの割にターゲットのもとへ情報が届きにくくなっています。その点ポスティングはターゲットにピンポイントで情報を直接届けることができるので、効率的です。また、ダイレクトメールに関しましては、宛名データ出力から封入発送までの一連の業務も承ります。

【有限会社アイ・エス・エフ】

東京都八王子市明神町2丁目19-11 フラワーハウス1階 TEL:042-656-6025



昨年、新規事業にパソコンの修理ショップをオープン!

弊社はビジネスホンやコピー機など、OA機器の販売・工事を行っております。また、新規事業として、昨年の4月14日に八王子駅北口の「やすらぎの湯」の向かいにパソコンの修理ショップをOPENしました。

このショップでは、Windows・Mac・自作パソコン。メーカー問わず、修理致します。特にMacは、Apple Storeから修理の紹介をいただくくらいの実績があります。家電量販店やメーカーで修理を渡された、もしくは高額な見積を提示されたマシンなどがありましたら、ぜひ弊社にお預けください。

【株式会社ヒューマン・ライフ】東京都八王子市北野台4-31-1 TEL:042-636-2229

【スマホドック24 八王子店】東京都八王子市中町3-14 ダイナシティ八王子1階 TEL:042-649-1231



未来塾卒業生でアライアンス、デジタルサイネージを共同開発!

国内初!2.5mmピッチLED全天候型デジタルサイネージPiPit-VISIONを製作!
5期生アトラス広告社の近藤と2期生ライジングサンコーポレーション(以下、RSC)の坂本で、未来塾で学んだアライアンスを形にしました。アトラス広告社は本業の屋外広告のノウハウを生かし筐体製作を、RSCは本業のシステム開発からデジタルサイネージを動かす組込ソフト開発と操作を行うためのiPhone&Androidアプリケーション開発を行いました。もう1社コンテンツ制作も八王子市内企業と連携して行っております。またアトラス広告社は本製品にて八王子市中小企業新商品開発認定制度の認定をいただきました。LEDの中国からの仕入れに始まり、初めてのことばかりでたくさんの課題がありました。1人や1社でできないことも協力することによって成し遂げることができることを実感しました。3月3日~6日は東京ビックサイトでJAPAN SHOPに出展いたします。応援よろしくお祈りします!

【株式会社アトラス広告社】

東京都八王子市館町540-4 ハイソ近藤1F TEL:042-661-2905

【ライジングサンコーポレーション株式会社】

東京都八王子市明神町4-6-12 ザ・ビー八王子3階 TEL:042-660-1036

